

疾風怒濤の前半生

原敬 100回忌
特別企画展(前編)

2021.7.3 SAT
— 9.26 SUN

会場 / 原敬記念館 小ホール 企画展示コーナー

開館時間 / 9時~17時(入館は16時30分まで)
休館日 / 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)
入館料 / 一般200円(団体120円)、小・中学生50円(団体30円)、
団体料金は30人以上の団体に適用します。

お問い合わせ / 原敬記念館(指定管理 公益財団法人盛岡市文化振興事業団)
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮4丁目38-25
TEL 019-636-1192 FAX 019-636-1185
主催 / 原敬記念館(所管:盛岡市教育委員会)、
公益財団法人盛岡市文化振興事業団、
原敬100回忌記念事業実行委員会
共催 / 原敬を想う会

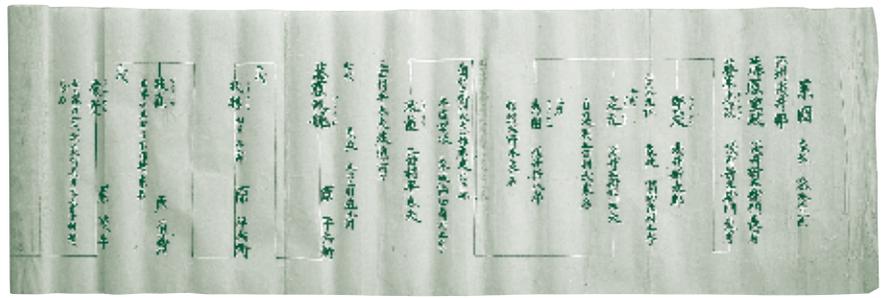


疾風怒濤 の前半生

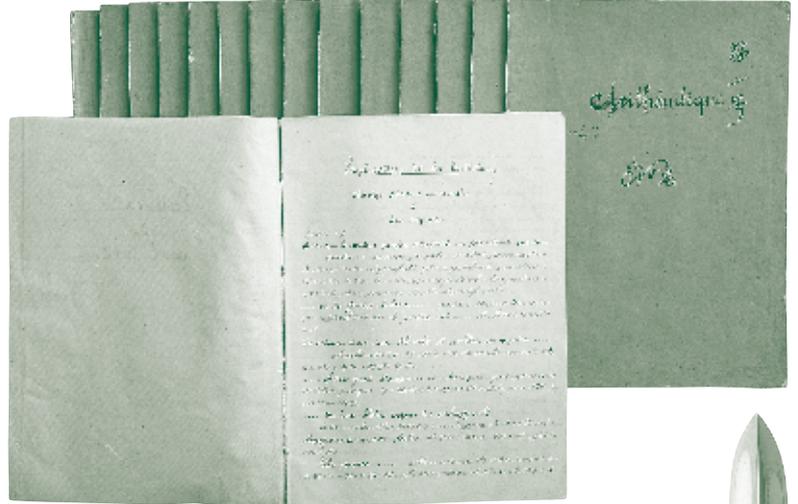
(前編)
原敬100回忌 特別企画展

原

敬



原家系図草稿 (原律子氏蔵) 初公開資料
原家の祖である近江の戦国大名・浅井家から、幕末の原家8代当主・直治、さらにその子である健次郎(後の敬)等兄弟まで網羅している。



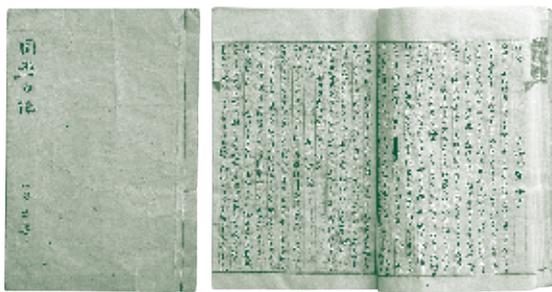
フランス語ノート (当館蔵)
全15冊。原がパリ公使館書記官時代に使用したノート。フランス語のみならず、政治、経済、歴史、数学に至るまで幅広く勉強していたことが分かる。

原家伝来の鎧
「山城守百園入道一虎」(当館蔵)
唯一現存する原家伝来の武器。鎧は江戸中期に活躍した武蔵の刀工、山城守国重が晩年に用いたもの。明和期(1764~1772)の作か。



令和2年(2020)は原敬の100回忌にあたります。そこで当館では平成30年度より「原敬100回忌記念事業実行委員会」と共に様々な記念事業を計画、準備を進めて参りました。この特別企画展は、同事業の一環として、広く原敬の業績や生涯を紹介するものです。前編では生い立ちから40歳頃までの波乱に満ちた前半生を採り上げます。なお、この展示は当初、令和2年度に開催する予定でしたが、covid-19の感染拡大により、今年度に延期となりました。

◎関連イベント 担当学芸員による展示解説
日時 / 令和3年7月17日(土)、8月22日(日)、9月26日(日)
いずれも13:30~14:15
開催日2週間前の10:00から電話にて受付(先着10人)



原敬「漫遊日記」・
「周遊日記」
(原敬文書研究会蔵)
全2冊(明治14年5~10月)。新聞記者だった25歳の原が「郵便報知新聞」に連載した「海内周遊日記」の取材日誌。



原敬 | 1856-1921

安政3年(1856)2月9日、岩手郡本宮村に生まれる。盛岡藩士・原直治の二男。藩校・作人館に学び上京、司法省法学校、郵便報知新聞記者等を経て外務省に入る。やがて政界へ進出、内務大臣等を経て第19代内閣総理大臣となった。日本初の本格的政党内閣を組織した「平民宰相」として支持を集めたが、大正10年(1921)11月4日、東京駅にて兇刃に倒れた。享年65歳。

(公財)盛岡市文化振興事業団からのお知らせ

- ◎石川啄木記念館
第14回企画展「啄木鳥探偵處のせかい」
2021年5月18日(火)~9月12日(日)
- ◎盛岡てがみ館
盛岡てがみ館開館20周年記念
第62回企画展「啄木鳥探偵處 -啄木と京助-」
2021年6月1日(火)~9月27日(月)
- ◎原敬記念館
原敬100回忌特別企画展 後編「政界への雄飛」
2021年10月16日(土)~2022年1月10日(月・祝)
- ◎盛岡市先人記念館
第63回企画展「金田一勝定 -盛岡財界の巨頭-」
2021年6月26日(土)~8月29日(日)

利用案内 開館時間 / 9:00~17:00(入館は16:30まで) 休館日 / 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)
入館料 / 一般200円(団体120円)、小・中学生50円(団体30円)
団体料金は30人以上の団体に適用します。

指定管理
公益財団法人盛岡市文化振興事業団
原敬記念館

〒020-0866
岩手県盛岡市本宮4丁目38-25
TEL 019-636-1192
FAX 019-636-1185



ご来館の際は、マスクの着用・手指の消毒などcovid-19対策にご協力をお願い致します。なお、感染症の拡大状況によっては本展および関連イベントが中止・変更となる場合もあります。当館のウェブサイトやSNSにて最新の情報をご確認ください。



交通アクセス
バス / ①「原敬記念館前」下車
盛岡駅発着 盛南ループ200
・矢巾営業所行 本宮線・羽場線
盛岡駅より徒歩5分
②「もといち泉公園前」下車徒歩5分
・イオンモール盛岡南線